

| | |
|------------|-------------|
| 日本標準商品分類番号 | |
| 873140 | |
| 承認番号 | (61AM)第166号 |
| 薬価収載 | 1986年1月 |
| 販売開始 | 1986年1月 |

貯法：しゃ光保存

使用期限：外箱に表示

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

※【組成・性状】

シータック注100は、1管（1mL）中に下記の成分・分量を含有する無色澄明の水溶性注射液である。添加物としてピロ亜硫酸ナトリウム0.5mg、ベンジルアルコール8mg及びpH調整剤を含有する。

| 販売名 (容量) | 成分名 | 分量 (1管中) | pH | 浸透圧比 (生理食塩液に対する比) |
|--------------------|---------|-------------|---------|----------------------|
| シータック注100 (1mL) | アスコルビン酸 | 100mg | 5.6~7.4 | 約4 |

【効能又は効果】

1. ビタミンC欠乏症の予防および治療（壊血病、メルレル・バロー病）
2. ビタミンCの需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時等）
3. 下記疾患のうち、ビタミンCの欠乏または代謝障害が関与すると推定される場合
 - 1) 毛細管出血（鼻出血、歯肉出血、血尿等）
 - 2) 薬物中毒
 - 3) 副腎皮質機能障害
 - 4) 骨折時の骨基質形成・骨癒合促進
 - 5) 肝斑・雀卵斑・炎症後の色素沈着
 - 6) 光線過敏性皮膚炎（「3.」の適応に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。）

【用法及び用量】

アスコルビン酸として、通常、成人1日50~2,000mgを1~数回に分けて皮下、筋肉内または静脈内注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

※※【使用上の注意】

1. 小児等への投与

低出生体重児、新生児に使用する場合には十分注意すること。[外国において、ベンジルアルコールの静脈内大量投与（99~234mg/kg）により、中毒症状（あえぎ呼吸、アシドーシス、痙攣等）が低出生体重児に発現したとの報告がある。本剤は添加剤としてベンジルアルコールを含有している。]

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

- (1) 各種の尿糖検査で、尿糖の検出を妨害することがある。
- (2) 各種の尿検査（潜血、ビリルビン、亜硝酸塩）・便潜血反応検査で、偽陰性を呈することがある。

3. 適用上の注意

(1) 投与経路

経口投与が困難な場合や緊急の場合、また、経口投与で効果が不十分と考えられる場合のみ使用すること。
また、投与経路は静脈内注射を原則とすること。
なお、経口投与が可能で効果が十分と判断された場合には、速やかに経口投与にきりかえること。

(2) 筋肉内投与时

筋肉内注射にあたっては、組織・神経等への影響を避けるため、下記の点に注意すること。

1) 筋肉内注射はやむを得ない場合のみ、必要最小限に行うこと。

なお、同一部位への反復投与は行わないこと。

また、低出生体重児、新生児、乳児、幼児、小児には特に注意すること。

2) 神経走行部位を避けるよう注意すること。

3) 注射針を刺入したとき、激痛を訴えたり、血液の逆流をみた場合は、直ちに針を抜き、部位をかえて注射すること。

(3) 投与时

1) 静脈内注射により、血管痛があらわれることがあるので、注射速度はできるだけ遅くすること。

2) 皮下・筋肉内注射により、注射部位に疼痛があらわれることがある。

(4) アンプリカット時

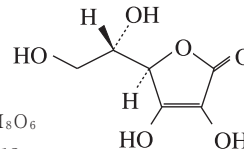
本剤はアンプリカット時のガラス片混入の少ないクリーンカットアンプリを使用しているが、さらに安全に使用するため、エタノール消毒綿等で清拭しカットすること。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：アスコルビン酸（Ascorbic Acid）

化学名：L-threo-Hex-2-enono-1,4-lactone

化学構造式：



分子式：C₆H₈O₆

分子量：176.12

性状：本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、酸味がある。

水に溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

融点：約190℃（分解）

※※【取扱い上の注意】

【安定性試験】

最終包装製品を用いた長期保存試験 [しゃ光保存、2年] の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、シータック注100はしゃ光保存において2年間安定であることが確認されている。¹⁾

※※【包装】

シータック注100：1mL 50管、200管

【主要文献】

1) コーアイセイ株式会社：社内資料（安定性試験）

【文献請求先】

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

コーアイセイ株式会社 学術部

〒990-2495 山形市若葉町13番45号

TEL 023 (622) 7755

FAX 023 (624) 4717



製造販売元
コーアイセイ株式会社
山形市若葉町13番45号